

第31回 放射線疫学調査倫理委員会議事要旨

1. 日 時：平成27年2月25日（水） 14:00～16:50
2. 場 所：（公財）放射線影響協会 大会議室
3. 議 題：
 - (1) 前回議事要旨（案）の確認
 - (2) 報告事項
 - ① 生死追跡調査の現状
 - ② 「個人情報保護に関する技術専門委員会」報告
 - ③ 次年度以降における放射線疫学調査の方向性について
 - (3) その他
「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」について（玉腰委員）
4. 出席者：

委員長	浦川 道太郎	早稲田大学 法学大学院 教授
副委員長	尾本 健	技術士（情報工学）
委員	渥美 雅子	弁護士
	佐々木 秀智	明治大学 法学部 教授
	玉腰 暁子	国立大学法人 北海道大学大学院 医学研究科 社会医学講座 公衆衛生学分野 教授
	広田 すみれ	東京都市大学 メディア情報学部 社会メディア学科 教授
顧問	中村 政雄	科学ジャーナリスト
オブザーバー	千原 理	原子力規制委員会 原子力規制庁 放射線対策・保障措置課 放射線規制室 放射線源管理係長
5. 議事概要：
 - (1) 前回議事要旨（案）の確認
前回議事要旨（案）の確認があり、原案通り了承された。
 - (2) 報告事項
 - ① 生死追跡調査の現状について
事務局から「平成26年度 生死追跡調査の結果」について説明があった。
委員から「住民票の写し等の交付請求を行い、市区町村から不交付

となったことにより統計解析に影響があるのではないか。」と質問があり、事務局から「現時点では統計解析に影響はないが、設定した集団から抜けが増えると影響が出てくるかも知れない。」と回答した。

②「個人情報保護に関する技術専門委員会」報告について

事務局から平成26年9月18日に行われた「第3回個人情報保護に関する技術専門委員会」の議事概要について報告した。

委員から「電子計算機室内には、外部からのウィルス等による攻撃を受けないための対策を講じているのか。」と質問があり、「電子計算機室内においては、外部からの接続は遮断しており、ウィルスパターンファイルは手作業によりアップデートしている。」と回答した。

③次年度以降における放射線疫学調査の方向性について

事務局から第V期放射線疫学調査（平成22年度から平成26年度）結果の取りまとめ及び次期調査の今後の事業のあり方を検討するための「放射線疫学調査あり方検討会」の議論をまとめ、本委員会で報告した。

第V期放射線疫学調査結果の取りまとめについて、委員から「報告書の内容を理解してもらうためには、結論を導く経過を丁寧に説明することが重要」との意見があった。

また、「放射線疫学調査あり方検討会」における議論のまとめについて委員から次の意見があった。

- ・調査対象者の協力を拡大するには、放影協の存在感や知名度を上げることが重要である。
- ・放射線疫学調査の知名度を上げる方法として、放影協のホームページと放射線関連分野のホームページとの相互リンクを設定して活用することも有効である。

(3)その他

委員から「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」について説明があった。

以上